

無垢と乾燥にこだわった 住宅用構造材 ドライ・ビーム®



本物の家造りのために

家造りの第一歩は、
まず家の骨組み(構造材)にこだわることから始めたい。
ドライ・ビームは厳選された丸太から良質な素材を取り出し、
じっくり丁寧に乾燥させた住宅用構造材です。

無垢へのこだわり

- ① 有害物質をまったく含んでいないこと
- ② 温もりがあること
- ③ 調湿作用に優れていること
- ④ 本物の素材感が楽しめること
- ⑤ 豊かな質感で手ざわりがよいこと
- ⑥ 時とともに心地よく古びていくこと
- ⑦ 解体時にも環境に優しいこと

ドライ・ビームの原材料はベイマツ(米松)



北アメリカ大陸西部の広大な山林において、計画的に植林し再生されている北アメリカ最大の蓄積量をもつ針葉樹です。材質は硬くて曲げ強度に優れ、木造建築の構造材(特に横架材)に適しています。

ドライ・ビームの品質特長

- ① 接着剤を使わない
- ② 含水率20%以下
- ③ 腐朽菌が発生しにくい
- ④ 収縮・たわみが小さい
- ⑤ 優れた寸法精度
- ⑥ 軽い(未乾燥材の約70%)
- ⑦ 横架材に適した素材(米松)

乾燥へのこだわり

木は本当にすばらしい性能を持つ建築材料です。熱を伝えにくい・弾力性がある・塩害に強い・衝撃を吸収する・調湿効果がある・音をやさしくする・紫外線をやわらげる・森林浴効果があるなどといった優れた性能をたくさん持っています。しかし、伐採したばかりの木は時間の経過によって縮んだり・反ったり・曲がったり・ねじれたり・割れたりする性質も持っています。なぜでしょう？

これは木に含まれている水分が主な原因なのです。木は乾いていく過程で繊維方向によって収縮の割合が異なるために「くるい」が発生するのです。昔の大工さんは木の乾燥と収縮の関係をちゃんと知っていて、棟上げした後すぐには内装工事にとりかからず、半年以上放って置きました。その間に木を十分乾燥させて構造の安定を図ることが、昔の大工さんの知恵だったのです。

こうして乾燥させた木材は、現代の数値で表現すると含水率(※)15%~20%の状態になっていたと考えられます。

しかし、今はスピードの時代。構造体でゆっくり乾かすというこの伝統的な家造りが難しくなっていました。そこで、前もってしっかり乾燥させた木材が必要となってくるのです。

(※含水率：木の中に含まれている水分重量の割合を表す数字のことです)